

使用済みプラスチックの再資源化事業への取り組み 「株式会社アールプラスジャパン」への資本参加について

株式会社コバヤシ(本社:東京都台東区、代表取締役:小林 達夫)は、持続可能な社会の実現に向けて、プラスチック課題解決に貢献すべく、2020年6月から事業開始した共同出資会社「株式会社アールプラスジャパン」に資本参加し、使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組めます。

当社はこれまで、プラスチックの一部をタルクや工業用でんぷんに置き換えたり、設計の工夫をしたりすることで化石燃料由来のプラスチック使用量削減に取り組んでまいりました。また、サステナビリティ方針を策定し、事業を通じた資源循環型社会の実現をはじめとする環境課題の解決に積極的に取り組み、さらに環境負荷を低減した製品を開発・提供することを目指しております。

本共同出資事業への参画により、使用済みプラスチックの再資源化を推進し、バリューチェーンの一員として持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

■ 共同出資事業における取り組みについて

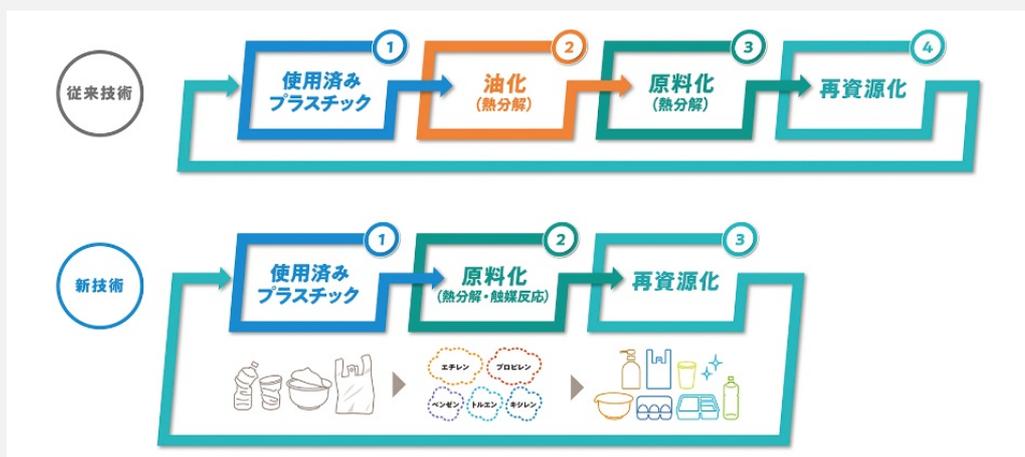
当社が参画する株式会社アールプラスジャパンは、米国のバイオ化学ベンチャー企業であるアネロテック社(Anellotech Inc.)とともに、環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術開発を進めます。世界で共通となっているプラスチック課題解決に貢献すべく、回収プラスチックの選別処理、モノマー製造、ポリマー製造、包装容器製造、商社、飲料・食品メーカーなど業界を超えた連携により、2027年の実用化を目指していきます。

使用済みプラスチックの再資源化技術について

ペットボトル以外のプラスチックは、現在国内では多くが焼却処理^{※1}されていると言われております。今回の技術は、ペットボトルを含むその他一般のプラスチックを、直接原料(ベンゼン・トルエン・キシレン・エチレン・プロピレンなど)に戻すケミカルリサイクル^{※2}の技術です。従来の油化工程を経由するケミカルリサイクルよりも少ない工程で処理でき、CO₂ 排出量やエネルギー必要量の抑制につながるものと期待しています。この技術が確立できれば、より多くの使用済みプラスチックを効率的に再生利用できると考えています。

※1 焼却時に発生する熱を回収し、発電や熱供給に活用するサーマルリカバリー(熱利用)を含む

※2 使用済みの資源をそのままではなく、化学反応により組成変換した後にリサイクルする



■ 共同出資会社の概要

会社名：株式会社アールプラスジャパン
 事業開始：2020年6月5日
 本社所在地：東京都港区台場2-3-3
 代表取締役社長：横井恒彦
 事業内容：使用済プラスチックの再資源化技術の開発・実用化推進

《参考》アネロテック社(Anellotech Inc.)について

2008年創業。米国ニューヨーク州パールリバーに本社・研究開発機能をもつバイオ化学ベンチャー企業。非食用の植物由来原料から石油精製品と同一性能を持つベンゼン・トルエン・キシレンを生成する技術を保有している。

【参画企業一覧】

